

沖縄県の 主な空手振興施策の紹介①

沖縄空手会館の設置



【目的】

沖縄空手会館は、沖縄伝統空手・古武道を独自の文化遺産として保存・継承・発展させ、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するための拠点として整備した施設です。

【施設概要】

■ 所在地：	沖縄県 豊見城市字豊見城854番地1	■ 建物構造：	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
■ 敷地面積：	約3.8ヘクタール	■ 建物階数：	道場施設:地上3階 展示施設:地上2階
■ 主要用途：	空手道場および展示施設		特別道場:地上1階
■ 延床面積：	約7,810㎡	■ 開館時期：	2017(平成29)年3月4日
	道場施設 5,917㎡		
	展示施設 1,803㎡		
	特別道場 91㎡		

沖縄空手世界大会の開催

世界中で空手の鍛錬に励んでいる空手家が「空手発祥の地・沖縄」に集結し、大会を通じて国際性豊かな交流を育み異文化に触れることで、沖縄空手の技のみならず、礼節を重んじ相手を思いやる沖縄空手の精神性をも学び、もって沖縄伝統空手及び古武道の保存・継承・発展に資することを目的に開催します。

沖縄空手世界大会(15歳以上)
沖縄空手少年少女世界大会(15歳未満)



10月25日「空手の日」関連イベントの開催

10月25日の「空手の日」を記念する奉納演武及び記念演武祭は、空手の基本である「守礼の心」を再認識するとともに、「空手の日」及び「空手発祥の地・沖縄」を広く国内外に発信することを目的に開催します。

※空手の日とは、2005(平成17)年3月、沖縄県議会において、10月25日を「空手の日」とすることが決議されました。これは「空手」の表記統一が確認された日が1936(昭和11)年の10月25日だったことにちなんだものです。決議文の一部を以下に抜き出します。

空手には「空手に先手なし」という偉大な哲理と「ヌチドウ宝」の生命尊重の思想を根本理念とする「平和の武」があり、今日の国際社会からますます求められ、貢献を広げていくものと確信する。よって、本県議会は、沖縄伝統の空手が今後ますます発展し、世界の平和と人々の幸福に貢献することに願いを込めて、「10月25日」を「空手の日」とすることを宣言する。



奉納演武



記念演武祭